

【様式1】

<p style="text-align: center;"><b>市議会における政策提案とその対策等</b> 〔一般質問〕</p>					
担当課	都市政策課	議員名	多久島 繁 議員	提案月	H26.12
<p>〔提案事項〕</p> <p>防空壕（特殊地下壕）の安全対策について</p> <p>防空壕は、戦時下の国策であり、ほとんどのものが民有地に作られている。基本的に国の責任より対策をするべきと考えているが、採択や費用等の問題もあり、早急な対策は難しいと思われる。</p> <p>しかし、この中には、人が入れるような危険な箇所もあるため、多額の費用をかけずに、対策ができるのではないかと考えている。実際、山代地区では、網を張り、人が入らないような対策を講じている。</p>					
<p>〔現況等〕</p> <p>伊万里市の特殊地下壕の数は、64 箇所確認している。このうち、封鎖されている箇所が、16 箇所、ほぼ閉塞し、人が入ることが困難な箇所が 12 箇所、簡易な対策が行われている箇所が 13 箇所、開口している箇所が 23 箇所となっている。</p> <p>国からの補助による事業はあるが、補助対策の条件が高く、当該事業での採択は困難である。そこで、今とっている安全対策は、住民への注意喚起を促す看板設置にとどまっている。</p> <p>このため、毎年、補助事業の採択要件の緩和や補助率の嵩上げといったことを国へ要望しているが、要件等の改正は難しいものと思われる。</p>					
<p>〔政策提案を受けての対策〕</p> <p>今確認している箇所について、危険性、緊急性、周辺の状況等を総合的に判断し、順位付けを行い、費用をかけずに効果的な進入対策（板柵、ネット、金網等）の年次的な実施を検討したい。</p>					
<p>〔対応状況・令和2年12月31日現在 完了〕</p> <p>特殊地下壕の進入対策について、現地確認を行いながら、随時安全対策を行っていく。</p>					